

A collection of various wooden animal-shaped toys, including bears, rabbits, squirrels, and birds, scattered on a dark background. The toys are made of light-colored wood and some have small black dots for eyes. The word "MEGUMI" is written in white capital letters across the center of the image.

MEGUMI

輝くいのち、つながる心、 それが私たちの願いです。

たった1粒のとうもろこしも、
芽生える小さいいのちを秘めています。
私たち人間にも、自分の想いを超えて
生きているいのちがあります。
いのちの中に、いのちがある…。
この世に生まれてきた一人ひとりの
かけがえのない大切ないのちが
きらきら輝くことを願って、
育ての道を歩んでいこう。





こどもたちの日常の

まんなかに“木のある暮らし”。

生きる力、遊び力を育む

めぐみこども園の幼児教育。

めぐみこども園が目指す幼児教育

こどもたちは遊びを通して、いろんなことを学び、生きる力を身に付けます。

当園では、自立的な遊びを重視した“遊び力を育む”幼児教育を行なっています。

あたらしい園舎・園庭では、木を中心とした情緒の安定につながるやわらかく、温かみのある空間づくりを大切にしています。こどもたちの好奇心や探究心をかきたて、自主的に遊びたくなるような工夫もいっぱいです。

ご家庭や地域、園での遊びや活動、さまざまな体験を通じて、こどもたちの豊かな心を育てていきましょう。



① 内装木質化

あたらしい園舎には、池田町の樹齢100年の県産杉無垢材をメインに活用。素材によって違う色合いや感触を、こどもたちに感じ取ってもらえるよう工夫されています。

② 木育ルーム

東京おもちゃ美術館監修のもと、0～1歳児用と2～5歳児用のおもちゃ遊び専用の部屋「木育ルーム」をつくりました。木育ルームには、遊び方の限定されていない木製玩具をはじめ、グッドトイと呼ばれる良質なおもちゃをセレクトし、大量導入しています。

④ 遊びのプロ集団

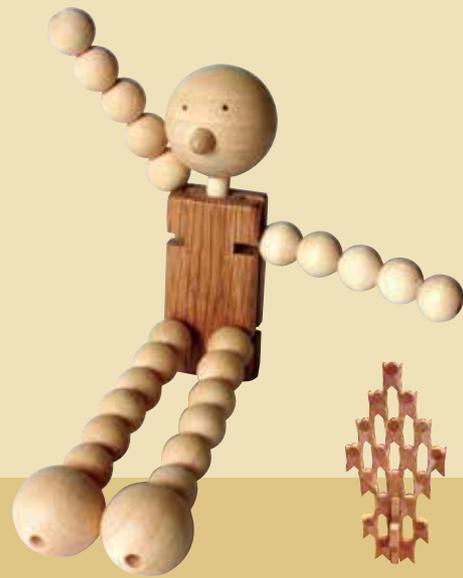
当園の職員の9割が、「木育インストラクター養成講座」「木育指導者セミナー」を受講し、資格を取得。「おもちゃインストラクター」の資格取得者もあり、専門的なおもちゃ遊びを展開しています。

⑤ 年間カリキュラム

当園では、全国から専門の講師を迎え、幼児教育の専門的指導、木育による製作・外遊びをメインとした活動計画をたてて実施しています。

【外部アドバイザー】

木育のプロ・福島計一氏(環境教育・木育指導者)／おもちゃ遊びのプロ・石井今日子氏、岡田哲也氏(東京おもちゃ美術館)／生態系のプロ・奇二正彦氏((株)生態計画研究所主任研究員・帝京科学大学生命環境学部講師)／幼児教育のプロ・橘和代氏(東京有明教育芸術短期大学子ども教育学科講師)



③ 園庭

自然とデザインが共存。東京おもちゃ美術館や生態系のプロ・奇二正彦氏監修のもと、あたらしい園庭が完成。曲線をテーマにした県産総ヒノキの「大きなウッドデッキテラス」、四季の移ろいやいのちの営みを感じられる「ちいさなめぐみの森」。身近な自然を感じ、学べる園庭が、こどもたちの日常を豊かに彩ります。

⑥ 春夏秋冬の自然体験

5歳児は「SSTランド」や「足羽山」、「たけくらべ」で、4歳児は「SSTランド」や「足羽山」で、NPO団体(森のほろがごがっこう等)とともに、自然にふれ、四季の移り変わりを感じる園外保育を行なっています。

木育ってなあに？

「木育」この言葉は、2004年北海道で生まれました。
こどもの頃から、木を身近に使っていくことで、
人と、森・木との関わりを主体的に考えられる
“豊かな心”を育てたいという想いが込められています。
そこでわたしたちは、
「木育」を「“木”が好きな人を“育”てる活動」と考えました。

赤ちゃんが一番心地よく感じるのは「ママの肌」。
その次は、何だと思えますか。

パパの肌？ 肌ざわりのいいコットン？

実は、二番目は「木のおもちゃ」だと言われているんです。
目で見て、耳で聞いて、さわって、味わって、においをかいで…
こどもたちは遊びの中で、五感をいっぱい働かせます。
乳幼児期に、木のおもちゃにたくさんふれることで、
人間が本来持っている創造力や考える力、好奇心を刺激。
心の成長や思考にとってもいい効果があるそうです。
手にふれたときのホッとする香りは、木材ならではのもの。
家庭や地域、園での木のおもちゃ遊びや活動、
さまざまな体験を通じて
こどもたちの豊かな心を育てていきましょう。

こどもたちの
豊かな感性、遊び力を育む
やわらかい空間。
木の温もりたっぷりの
あたらしい園舎が
完成しました。



園内・園庭MAP〈1階〉

園庭で思いっきり走ったり、おもちゃ遊びをしたり、
おいしいごはんを食ったり。木のやさしい香りいっぱいの広い園内は、
好奇心旺盛なこどもたちにとって最高の遊び場。
お友達と一緒に、毎日のびのびと元気に遊びましょう！



本館玄関



カラフルな積み木のモザイクアートがお出迎え。下の部分は取り外しができ、こどもたちが自由にはめ込んで遊べるよう工夫されています。

0~1歳児 木育ルーム

池田町100年杉30mm材を基調とした、赤ちゃん向けの木育ルーム。広い床で思いっきりハイハイしたり、寝転んだりして木の温もりや感触を五感で感じることができます。



大きなウッドデッキテラス

こどもたちに良質な外遊びの環境を。“曲線”をテーマにした、県産総ヒノキの大きなテラスが誕生しました。テラスの上をみんなで走り回ったり、ウレタン製の柔らかなオブジェ「水玉遊具」で遊んだり、水遊びしたり、ピクニックを楽しんだり、いろいろな遊びが展開できます。



ちいさなめぐみの森

思いっきり身体を動かせる芝生の広場、落書きキャンパス、身近な生態系を凝縮したちいさな森のライブラリー。さまざまな性格を持ったあたらしい園庭がこどもたちの日常を豊かに彩ります。



園内・園庭MAP〈2階〉

木育絵本ルーム

こどもたちの好奇心をくすぐるすてきな絵本がいっぱい。県産材の本棚や切り株のイスが配された室内は、まるで森の中にいるよう。



2～5歳児 木育ルーム

県産杉無垢材を使用し、「ごっこ遊び」「ちゃぶ台遊び」「感覚遊び」と大きく3つのゾーンに分かれた、こどもたちの好奇心をくすぐるワクワク空間。木の香りを感じながら、のびのびと活動的に遊ぶことができます。



遊戯室 (ホール)

木育カリキュラムの各種ワークショップをはじめ、入園式・卒園式、発表会といった季節のイベントなど、園のさまざまな行事に利用されています。



多目的ルーム (1F)

木の温もりいっぱいの職員の休憩室「多目的ルーム」。大きなテーブルをはじめ、こちらでも県産杉材を使用しています。



大きなウッドデッキテラス

思いっきり遊んで、
楽しく学べる園庭が
できあがりました。

毎日がワクワクドキドキの連続 あたらしい園庭はみんなの最高の遊び場！

こどもたちの日常に、良質な外遊びの環境を。

東京おもちゃ美術館の監修のもと、あたらしい園庭が完成しました。

園舎から靴を履かずにそのまま出ることができる「大きなウッドデッキテラス」。

ランドスケープデザイナーの熊谷玄氏による、

なめらかな曲線カーブが美しい県産総ヒノキのテラスと、

ウレタン製のまあいフォルムが愛らしい「水玉遊具」、

座ったり、ごっこ遊びしたりして楽しめる「お家型ベンチ」。

デザイン性にも優れ、こどもたちの感性をくすぐる最高の遊び場に。

さらに中央部分の板をめくると、プールが出現。夏はテラスで水遊びができます。

お天気のいい日は、お弁当を広げてピクニック、

お誕生日会や演奏会といったイベントなど、楽しみ方も無限大です。



 東京おもちゃ美術館

× 株式会社
生態計画研究所

× stgk inc.

×  めぐみ
こども園

ちいさなめぐみの森



身近にある自然から
四季の移り変わりやいのちを感じる
“ちいさな森のライブラリー”。

2018年春、園舎南側に誕生した「ちいさなめぐみの森」。

木登りもできる大きなシンボルツリーのモミジをはじめ、
ロウバイやナンテンなど、四季を通して変化するさまざまな樹木や
そこに生息するちいさないのちに見守られて……。

思いっきり身体を動かして遊ぶことができる「芝生広場」、
大きな遊具の下の秘密基地「黒板落書きコーナー」、
「どろんこ&水遊びスペース」など、自然を感じる事ができる仕掛けがいっぱい。
そんな“遊んで学べる園庭”が、こどもたちの日常を豊かに彩ります。





ヤマボウシ

初夏に花を咲かせ、晩夏になると個性的な赤い実をつけます。果実は食べることも可能です。

ドングリ

秋になると、こどもたちが大好きな「ドングリ」を実らせる樹木。



サルズベリ

真夏に鮮やかな花を咲かせ、ツルツル気持ちいい手ざわりの樹皮が特長。



モミジ

春の新緑、夏の木陰、秋の紅葉が楽しめる「ちいさなめぐみの森」のシンボル。木登りはもちろん、ブランコ遊びもできます。



ナンテン

初夏に咲く小さい白い花、冬につける赤い実が印象的。この実を野鳥が食べにやってきます。



ロウバイ

冬の寒さが緩んでくると黄色いロウ細工のような花を咲かせます。香りを楽しむ樹木です。

身近な生態系を凝縮。 植栽する植物にもこだわっています。

こどもたちの成長を見守るシンボルツリー。

「大きなウッドデッキテラス」には、カツラの木を。

そして「ちいさなめぐみの森」には、モミジの木を植樹しています。

ほかにもこどもたちの大好きなドングリの木、サルズベリやヤマボウシなど、緑いっぱいの園庭。

植栽する木や植物は、生物多様性の専門家のアドバイスを受け、

まわりの環境を考慮しながら選定しています。

自然とふれあうためにわざわざ遠くに外出するのではなく、

こどもたちが「身近なもの」として日常的に自然を感じる事が一番。

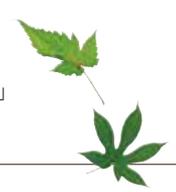
四季によって移り変わる自然情景を体感しながら、多様な遊びが展開でき、

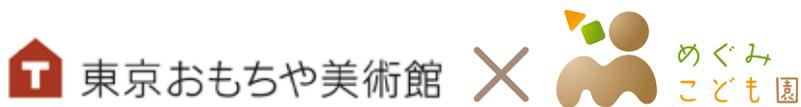
鳥や虫たちにとっても心地よいスペースを目指しています。



まるでアート！ 実際の本を素材に使った 葉っぱがフェンスを彩る。

単調になりがちなフェンスにもひと工夫。
カツラ、イチョウ、キンモクセイ、カキ……
いろんな木を素材にした木製リーフで彩られた
アートフェンスが園のまわりを囲んでいます。
「これ、なんの木？」「どんな葉っぱの形をしているの？」
こどもたちの疑問に答えてくれます。





新生・めぐみこども園「木育プロジェクト」 園舎と教育で全国初のウッドスタート宣言！

園舎リニューアルでは、7年に渡って林野庁の国の事業である「木育」推進を受託する東京おもちゃ美術館監修のもと、デザイナーのアイデアを交え、県産無垢材を生かした「2～5歳児木育ルーム」をつくり、世界第3位の森林大国に相応しい園づくりを目指しました。

多世代の人々に心地よさを与える木質率も考慮した、白を基調とした木の香漂う落ち着いた空間です。



「東京おもちゃ美術館」

赤ちゃんからお年寄りまで多世代の豊かな出会いと楽しみを有するミュージアム。国産の木材のみでつくられた「おもちゃのもり」や、赤ちゃんが木の匂いやさわり心地を感じられる「赤ちゃん木育ひろば」など、木育のコンテンツが多数揃っています。



「ウッドスタート」

日本グッド・トイ委員会が展開している「木育」の行動プランのことで、「木」をまんなかに置いた子育て・子育て環境を整備し、こどもをはじめとする全ての人たちが、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしを送ることができるようにしていく取り組みです。



0～1歳児 木育ルーム

赤ちゃんからはじめる木のある暮らし。池田町100年杉30mm材を基調として、「未満児向けのグッドトイ」や「樹齢500年杉の削り出しアート」、北欧や日本の布で森の四季を表現した「ファブリックアート」、「小型ヒノキタマゴプール」などを設けています。広い床で思いつきハイハイしたり、おもちゃで遊んだりして、木の温もりや感触を味わうことができます。また、柵にも“遊びの要素”を取り入れているのもこの部屋の特長です。

この部屋での保育がはじまって、「お家でもよく寝るようになりました」「心やすらぎます」など、保護者からの評判も上々です。



「ウッドデザイン賞」を受賞しました。

木育ルームをはじめ、県産材無垢材をメインに活用したあたらしい園舎が「ウッドデザイン賞」を受賞しました。つかまったり、抱きついたり、よじ登ったり、トンネルくぐりしたり……。0～1歳児木育ルームの人気者「樹齢500年杉の削り出しアート」も受賞しています。



※ウッドデザイン賞とは、木の良さや価値を再発見できる製品や取り組みについて、特に優れたものを表彰し、木材利用を促進する顕彰制度です。



2～5歳児 木育ルーム

池田町100年杉30mm床材をメインに、県産杉のルーバーで囲われ、秘密基地気分が味わえる中二階の「ごっこ遊びコーナー」、畳スペースでコマ回しなどが楽しめる「ちゃぶ台コーナー」、多樹県産材広葉樹の「感覚遊びコーナー」とエリアごとにゾーン分け。多種多様なグッドトイを中心に、10種の県産材を使った地元職人によるオリジナル積木遊びや創造性を育む壁面遊び、コマ遊び、おままごとなど、こどもたちが木の香りを感じながらのびのびと活動的に遊べる、死角のない安心・安全な空間を作りました。

なかでも木のタマゴ1万2000個を敷き詰めた「ヒノキの恐竜タマゴプール」は、プールの中に隠れた2000個の球体を探し出して、壁面のクーゲルバーンで転がして遊べるなど、いろんな楽しみ方が詰まったこどもたちに大人気のスペースです。



当園の木育プロジェクトが 「第10回キッズデザイン賞」 を受賞しました。

2016年、当園の木育に対する取り組みが「第10回 キッズデザイン賞」(主催:キッズデザイン協議会/後援:経済産業省、消費者庁)を受賞しました。

※キッズデザイン賞とは、こどもたちのための成長を促進する取り組みを行っている団体へ贈呈されている顕彰制度です。



木育

カリキュラム

木にふれる、つくる、遊ぶ
こどもたちの豊かな
感性を育む木育体験。

「木育」はおもちゃ遊びだけではなく、木や自然などに目を向け、背景などを知ることで作ったモノに愛着を抱いてもらう。これには、幼児期の原体験から木にふれる文化を築いていくことが重要です。当園では、環境教育・木育指導者である福島計一氏を講師に迎え、木育による製作・外遊びをメインとした活動計画「年間木育カリキュラム」をたて、実施しています。

担当職員
Voice



6月	サンドペーパーでお守りづくり
10月	ままごと遊び
12月	蜜ろうそくづくり

3歳児
体験プログラム

4歳児
体験プログラム

6月	サンドペーパーでクラベスづくり
10月	スプーンづくり
12月	オーナメントづくり

6月	玄翁をつかってカスタネットづくり
10月	ままごと遊び(虫めがね)
12月	森の積み木づくり

5歳児
体験プログラム

◆監修・講師／環境教育・木育指導者 福島計一氏

※プログラム内容は、毎年異なります。

毎年クリスマス時期には、ツリーやそのまわりを飾るアイテムを製作しています。クリスマスの本場ドイツではモミの木には、小人が住んでいて、その土地を守っているという言い伝えがあり、その小人が出て行かないよう木に花や食べものを飾ってお祭りをする風習があったそうです。そういった物語をもとに、園児全員でツリーに飾るオーナメントや蜜ろうそく、森の積み木をつくり、飾り付けしています。

サンタやプレゼント、ご馳走といった華やかな部分だけでなく、ささやかだけれど、家族で過ごす温かみのある行事だということを伝えているんですよ。

環境教育 カリキュラム

「いのちの物語」への
感受性を育む
春夏秋冬の自然体験。

自然豊かな福井がこどもたちの遊びのフィールド。お友達と一緒に五感をフル回転させ、ふるさとの森や川を原体験として心に刻む、四季折々の自然体験。4歳児は「見つけるって楽しいな」、5歳児は「不思議っておもしろいな」というそれぞれのテーマのもと、NPO団体とともに、自然や動植物にふれ、いのちのつながりを感じながら、豊かな感性を育てていきます。

めぐみこども園 森遊びプロジェクト

4歳児
体験プログラム

春	6月	ヘンテコ生き物をさがしてみよう
夏	7月	森のふしぎふしぎはっけん!
秋	11月	どんぐりコロコロ遊びましょ♪
冬	2月	雪の足あととはだ〜れの!?

◆場所 / SSTランド(冬は足羽山)
◆協力 / 森のほうかがごっこう



5歳児
体験プログラム

春	5月	森のスゴイ生き物をさがしてみよう
夏	8月	川のスゴイ生き物をさがしてみよう
秋	10月	森のおもしろ〜♪をさがしてみよう
冬	3月	ほってみよう!つくってみよう!!

◆場所 / SSTランド(夏は竹田、冬は足羽山)
◆協力 / 森のほうかがごっこう



※上記は2018年の年間予定です。プログラム内容は、毎年異なります。

担当職員
Voice



この春、SSTランドで行なわれた今年度は初めての自然体験。木育ルームや木のおもちゃなど、普段こどもたちの身近にある“木が育った森を感じる”最高の機会。坂道は自然のすべり台、昆虫やいきもの探しやマイナスイオンたっぷりの森の中でおいしいランチ。大自然を舞台に、いろんな遊びを広げていました。普段の室内遊びでは見れない、こどもたちの意外な一面、はじけるような笑顔など、私たち職員もいろんな発見がありました。

こどもたち一人ひとりが 自然とつながる ちいさな冒険家です。

あたらしくなった園庭や公園など、
一步外へ踏み出した瞬間から、
自然の世界は広がっています。
当園では、生態計画研究所監修のもと、
こどもたち一人ひとりが自由に発想を広げて楽しめる
自然あそびを積極的に取り入れ、
自然とふれあう時間を大切にしています。
こどもたちにとって自然はいつも刺激的。
さまざまな体験の中で芽生える豊かな発想力は、
のびのびと、たくましく生きていく力につながります。



身近な自然遊びのススメ



自然あそび 1

自然の中の顔

身の回りにある木にもいろいろな表情がある
ことを発見。木の枝が折れてできたウロや
穴、葉、木の実などの上にシールを貼ると、だ
んだん顔に見えてきます。笑った顔や怒った
顔、泣いた顔など、置き方によっていろんな表
情が出るはず。 「どんな気持ちなのかな？」
と聞きながら、楽しく遊んでいます。



自然あそび 2

落とし物ひろい

葉っぱやどんぐり、セミの抜け殻など、地面には年間を通していろいろなものが落ちています。例えば「今日は赤い葉っぱと黄色い葉っぱを集めてみよう」「もらった折り紙の色と同じものを拾ってこよう」など、色や形など、お題(テーマ)に沿って集めることで、子どもたちの観察眼や創造性を養います。



自然あそび 3

フロッタージュ (写し絵)

自然界には、いろいろな色や形、手ざわり、においの葉っぱがあります。葉っぱの葉脈は、よく見るととても美しい模様で、まさに自然のアート。そんな葉っぱの上に紙を敷いて、色鉛筆やクレヨンなどでこするだけで、誰でも簡単に“自然の美”を表すことができます。



自然あそび 4

ムクロジの実で 天然しゃぼん玉

秋になるとたわわに実をつけるムクロジ。ムクロジの実の皮には、サポニンという成分が含まれていて、昔は石鹸の代用としても使われていました。水の中でねばねばした皮を揉んでいると、石鹸水のような白く濁った水に。その水を使って、しゃぼん玉遊びに挑戦します。



◆監修 / 生態計画研究所

めぐみコラレ

あおむしぐんの成長

今年も園のミカンの木には、アゲハ蝶の幼虫がいっぱい。隠れるように木に住み着き、葉っぱをもりもり食べてぐんぐん大きくなった幼虫たち。「はらぺこあおむしがいた!」と、大喜びの子どもたちの声。幼虫からサナギ、そしてアゲハ蝶へと変身していく姿をみんなで見守りました。生き物、植物が生きています。



めぐみこども園の 食育活動



幼児期は、食への考え方や食習慣の基礎が身につく大切な時期です。

当園では食育活動として、地元の旬の食材を使った地産地消の給食づくりだけでなく、食物栽培や収穫体験、そば打ち体験など、こどもたちが生活の中で食やいのちにふれる機会を持っています。

● 離乳食について

離乳は「食育」の第一歩。調理の仕方を徐々に変えていくことで、赤ちゃんが固形食を食べる方法を学んでいきます。栄養面で「鉄分」を不足させないこと、機能面で摂食機能を発達させることを大切にしています。

また、こどもの食や発達を学ぶ大切な機会でもあります。離乳は、こどもにとっても大人にとっても大切な食育の機会と考えております。

● 食物アレルギーについて

食物アレルギーを持つお子様に対して、年1回診断書を提出していただき、かかりつけの医師による診断と、それに基づく指示により食物アレルギー除去食を専門の栄養士の指導のもと、提供しています。ほかの子と全く違うメニューではなく、なるべく同じようなメニューにし、「除去したら必ず補う」ことを前提に、アレルゲンとなる食品のみを除去し、代替食品を用いて調理するという方法をとっています。



「いただきます！」の
合掌ではじまる
楽しい時間。



「こども心を忘れない大人」 職員みんながあそびの達人です！

当園では、こどもたちの「生きる力」を育むために職員同士が連携を取り合い、よりよい保育を心がけています。あたらしい園舎・園庭も完成し、木育カリキュラムもはじまりました。「木育インストラクター」「おもちゃコンサルタント」の資格取得や勉強会など、こどもたちの笑顔のために、私たちが笑顔で日々いろんなことに挑戦しています。



みゆき先生
(主幹保育教諭)

こどもが安心して過ごし、保護者が安心して預けることができ、保育者たちが安心して教育・保育ができる。その安心感こそが保育の根っこ。一人ひとりのこどものかけがえのない「今」を大切に、笑顔あふれる保育に努めます。



えみ先生(保育教諭)

こどもたちと過ごす毎日は、驚きと発見でいっぱいです。そんな感動と一緒に分かち合いながら、こどもたちの気持ちに寄り添った保育を心がけています。泣いて、笑って、いたずらして…いろんなことを経験し「今日も楽しかったな」「明日もこども園に行きたいな」と思える場所になってくれることを願っています。



かおり先生
(木育担当者・指導保育教諭)

こどもたちは遊びが大好き。そんな遊びの中に「木育」を取り入れ、木の温もりを感じながら遊んでいます。木の感触やにおいを身体で感じながら、元気いっぱい遊んでいるこどもたち。そんなこどもたちのキラキラ輝く笑顔に、私も日々元気をもらっています。

春



4月 入園式*

5月 花まつり
親子遠足*

健康診断

※は保護者参加行事です。

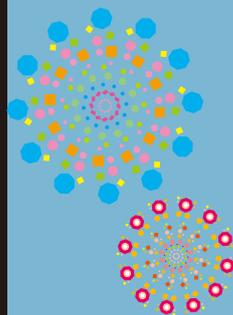


花まつり

4月8日のお釈迦様の誕生を祝い、お釈迦様に甘茶をかける伝統ある儀式を行っています。また、甘茶をいただきながらお釈迦様誕生のお話を伝えます。

年間行事

思い出や体験の数だけ、
心も身体も
大きく成長していく。
春夏秋冬、楽しい行事が
いっぱい。



夏

6月 歯科検診
保育参観と講演会*
清掃奉仕*

7月 七夕会
プール開き
夏まつり*
お泊り保育(年長児)

8月 プール遊び
お盆

※は保護者参加行事です。



夏まつり

年長児の和太鼓演奏や盆踊り、めぐみ会役員の皆さんによるいろんなお店や花火大会など楽しい事がもりだくさん！みんなで楽しい夏の夜のひと時を過ごしましょう。



秋



9月 運動会*

10月 報恩講
秋の遠足

バザーとおもちつき会*
祖父母参観*

11月 観劇(5歳児)
健康診断

終了児記念写真撮影
※は保護者参加行事です。

0歳ふれあい会



発表会

1年で1番こどもたちが輝く発表会。普段の保育の中で、こどもたちが楽しんでいる「リズム遊び」や「運動遊び」、また、好きな「お話の劇ごっこ遊び」などを中心にした生活発表会です。こどもたちの輝く表情、真剣に取り組む姿を保護者の皆様に見ていただき、こどもの成長をともに喜び、共感できたらと思っております。



冬

12月 発表会*
おもちつき
クリスマス会

1月 新年お楽しみ会
新入園児面接*

2月 節分の豆まき
小学校体験入学*

3月 ひなまつり会
新入園児健康診断
お別れ会
卒園式(5歳児の保護者のみ)*
※は保護者参加行事です。



その他の行事

- 木育カリキュラムに基づいた木育体験・自然体験
- お誕生会
- 体操教室
- 体位計測
- 交通教室
- 仏さまの日
- 避難訓練
- 体験入園*
- etc...

※は保護者参加行事です。



1日の過ごしかた

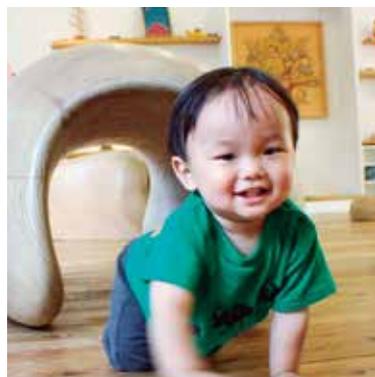
「おはようございます」

朝の元気いっぱいの笑顔から、
みんなの楽しい1日が始まります。



0～2歳児〔3号認定〕

7:00	早朝児受け入れ(標準時間) 延長保育(短時間)	
8:00	登園(健康観察・持ち物始末・自由遊び)	
9:30	おやつタイム 年齢別活動・異年齢児活動	
11:00	昼食 排泄・おひるね準備	
12:00	おひるね(12:30に排泄)	
15:00	おやつタイム 降園準備	
16:00	降園 短時間延長保育(16:01～19:00) 標準時間延長保育(18:01～19:00)	
18:00	標準時間延長保育(18:01～19:00)	
19:00	延長保育児降園	



特別保育教育

3～5歳児〔1号認定〕

8:30	登園(健康観察・持ち物始末・自由遊び) 年齢別活動・排泄
11:30	昼食準備 昼食 排泄・おひるね準備
13:00	降園準備・降園
↓ 16:00	幼稚園型一時預かり保育(12:31～16:00) ※別途料金



3～5歳児〔2号認定〕

7:00	早朝児受け入れ(標準時間) 延長保育(短時間)
8:00	登園(健康観察・持ち物始末・自由遊び)
9:00	年齢別活動・排泄
11:30	昼食準備 昼食 排泄・おひるね準備
13:00	3・4歳児:おひるね 5歳児:おひるね(10月～3月は活動)
15:00	おやつタイム 降園準備
16:00	降園 短時間延長保育(16:01～19:00)※別途料金
18:00	標準時間延長保育(18:01～19:00) ※別途料金
19:00	延長保育児降園



木育について

暮らしの中に木を取り入れ、こどもの心を豊かにする「木育」。木育ルームが、最高の情緒の安定の場となり、木のおもちゃは最高の幼児教育に当たると考えています。「食育」が“体の栄養”であるならば、「木育」は“心の栄養”です。こどもたち、職員、そして保護者の皆様が、ともに楽しみながら、豊かな子育てをできる「木育」を取り入れています。



和太鼓

平成元年から保育に取り入れ、現在に至るまで18年の積み重ねを持って、こどもたちからこどもたちへと受け継がれています。



体操教室

毎月2回「エーアイきつずくらぶ」から体操の先生を招いて、4・5歳児を対象に体操教室を行なっています。運動を通して、自信や考える力、お友達を思いやる心(協調性、社会性)を学びながら、楽しんで取り組んでいます。



ほかにも希望者には「ダンス教室」もあります。

保育の方針

私たちはこどもたちの生きる喜びと力を育み、その健やかな育ちを支えます。

私たちは出会いの場、集いの場、そして、和みの場として子育てを応援します。

私たちは感謝の気持ちと向上心を持って歩み続けます。

保育目標

●心理的な環境

一人ひとりの欲求を十分に受け入れ、安心して生活ができるようにする。

●健康・安全な環境

健康安全など、生活に必要な基本的な生活習慣を繰り返し自立の芽生えを養う。

●心情

人とのかかわりの中で相手の人格を尊重し、思いやりの心、かわいがる心、感動する心を育てる。

●意欲

さまざまな環境を通して不思議がる心や、ためす心を育てる。

●態度

生活体験を通して挑戦する心、克服する心を育て、積極性を養う。

●共に生きる喜び

仏様の教えにふれ、命の尊さを培う。

めぐみこども園沿革

- 昭和26年 東西下野町の乳幼児を
恵光寺にて養育
- 昭和28年 久喜津町道場にて出張保育
- 昭和30年 近隣町の民生員として区民の支持により、狐橋町に園舎設立
- 昭和44年 保育園としての正規の認可を取り、
社会福祉法人めぐみ保育園を設立
(60人定員)
- 昭和50年 園児増加に伴い増築(90人定員)
- 平成9年 鉄骨二階建てを改築
子育て支援センターを発足
- 平成10年 園児増加に伴い、子育て支援センターとしての役割を一時休止
(150人定員)
- 平成16年 創立50周年
- 平成27年 園児増加に伴い、幼保連携型認定こども園として、めぐみこども園に名称変更(165人定員)
園舎リニューアル(木育ルーム新設)
- 平成29年 園庭リニューアル
- 平成30年 園庭完成



ごあんない

公私の別	私立
定員	165名(1号認定15名、2・3号認定150名)
職員	国の最低基準以上の職員を配置
バスの送迎	実施(開園時間7:00~19:00)
延長保育	短時間認定 朝7:00~8:00 夕16:01~19:00(別途料金) 標準時間 18:01~19:00(別途料金)
土曜保育	7:00~12:00
土曜延長保育(希望保育)	12:01~16:00
幼稚園型一時預り保育(1号認定)	12:31~19:00(別途料金)
一時預り保育	実施
障害児保育	実施
子育て相談	実施
制服	なし(3歳以上児は体操服で通園)
仏教保育	仏さまの教えにふれ、感謝する心・思いやりの気持ちを培っています
木育	新園舎には県産杉無垢材をふんだんに使用。こどもたちが木の温もりを肌で感じながら、感受性豊かな心を育むことを目指しています
体験入園(園開放日)	実施(お子さまの年齢のお部屋で園児と一緒に過ごします)
食生活	福井市の献立に基づき、栄養士・調理員がこどもたちの様子を見ながら、メニューづくりを行なっています。離乳食やアレルギーのあるお子さまにも対応いたします

認定区分	対象となるこども	教育・保育時間
1号認定(3~5歳児) 〔教育標準時間認定〕	満3歳以上で教育を希望するこども	教育時間4時間 (8:30~12:30) ※※12:30以降は一時預りで利用可能
2号認定(3~5歳児) 〔満3歳以上・保育認定〕	満3歳以上で、保護者の就労や疾病そのほかの事由により家庭において必要な保育を受けることが困難なこども	
3号認定(0~2歳児) 〔満3歳未満・保育認定〕	満3歳未満で、保護者の就労や疾病そのほかの事由により家庭において必要な保育を受けることが困難なこども	



めぐみ
こども園

〒918-8047 福井市久喜津町二本松34-1

Tel. **0776-36-5057** <http://www.megumihoiku.jp>

 めぐみこども園のフェイスブックで最新情報をチェック!

 めぐみこども園 FB

